



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

国際年をご存じですか。国連は1957年を国際地球観測年と定めたことをスタートに毎年何らかの「国際年」を設けています。これは、世界に共通する重要テーマについて、各国や世界全体が1年間を通じて呼びかけや対策を行おうとするものです。

2025年は国際協同組合年です

2025年は、国際協同組合年と定められました。2012年に続いて、2回目です。協同組合をもっと盛んにして、SDGs(持続可能な開発目標)をもっと現実のものとするために、国連は協同組合を評価、重視し、期待を寄せています。また、国連と歩調を合わせて、世界各国の政府や協同組合に、国際協同組合年を活用することを求めています。

日本国内の協同組合においても事業・活動をさらに発展させ、協同組合に対する認知度を高めていく絶好の機会と捉え、政府や関係者の方々と協力しながら、この機会を活かしていきたいと考えています。

国際協同組合年は、協同組合の事業を利用する方、活動に参加する方、そして働く方を広げるチャンスとも言えます。

【協同組合を学び、事業や活動を実践し、発信しませんか】

これまでもこれからも、協同組合のことを広く知る、知ってもらう、そして共感や信頼につなげることが大切です。今こそ、次のような3つのステップで、協同組合を学び、事業や活動を実践し、さらにこれを発信しませんか。

1 学んでみよう!

- ① 国際協同組合年について学び、共有してみよう。
- ② 協同組合とは何か、何を大切にしているか、どのように運営するか、あらためて協同組合らしさ(協同組合のアイデンティティ)を学ぼう。

2 実践してみよう!

みんなで話し合い、つながりの輪を広げ、できるところから始めてみよう。

3 発信してみよう!

学んだこと、実践していることを発信してみよう。発信することで知ってもらい、地域のつながりの輪を広げましょう。

